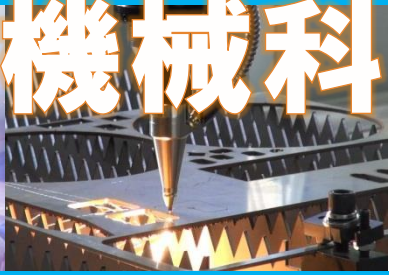


電子機械科



「沖縄タイムス社提供」

20160921～

2016（平成28）年8月9日（水）沖縄タイムス

ものづくり競技 県勢は18人挑む 業界就職の「登竜門」

業界就職の「登竜門」

20歳以下の未就業の若者が、将来製造業などで生かせる関連技術を競う「第11回若年者ものづくり競技大会（主催・厚生労働省、中央職業能力開発協会）」の競技

「メカトロニクス」の競技に取り組み出場者や審査員
■宜野湾市、沖縄コンベンションセンター



力開発協会は最終日の8日、競技の部が沖縄、栃木の両県4会場で行われた。全国から

14種目に358人がエントリー。県勢は6種目に18人が挑み、日ごろ磨いた技を披露した。

宜野湾市の沖縄コンベンションセンターではメカトロニクス、ウェアデザイン、ロボットソフト組み込みなど5種目の実技があり、出場者は真剣な表情で作業に取り組んだ。審査結果は9日に公表される。

同競技大会の参加者は当初の約200人から2倍近くに増加。上位入賞すると、社会人を言めた「技能五輪」への推薦が得られる種目、国際大会の予選を兼ねた種目もあり、業界就職の「登竜門」として認知度が高まっている。

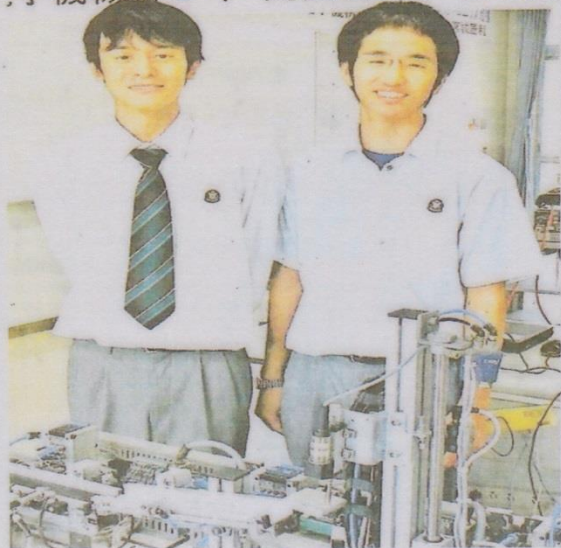
中央職業能力開発協会技能振興部の佐藤克司課長は「課題も難しくなるにつれ、技能レベルもアップしている。企業も優秀な人材を確保するため、注目している」と話していた。

2016（平成28）年8月11日（木） 沖縄タイムス

ものづくり金賞

沖縄工高3年 高良・宮城さん

電子機械科3年 高良健太、宮城匠



羽ばたく沖縄の若者たち

ものづくり競技大会で金賞に輝いた沖縄工業高校の高良健太さん（左）、宮城匠利さん＝那覇市、同校

20歳以下の未就業の若者が、製造業などで生かせる関連技術を競う「第11回若年者ものづくり競技大会」（主催

・厚生労働省、中央職業能力開発協会）が7、8の両日、

宜野湾市の沖縄コンベンションセンターなどで開かれ、メ

カトロニクス部門で沖縄工業高校電子機械科3年の高良健

太さん、宮城匠利さんが最高

評価の金賞（厚生労働大臣賞）に選ばれた。県代表の金賞は

初。2人は社会人の日本一を競う第54回技能五輪（10月、山形県）に推薦される。

メカトロニクスは機械、電気、情報、制御などの分野で構成される新たな技術。大会

では制限時間内に生産現場を想定した設備の改造、トラブルへの対応力、速さ、正確さ

などを競った。

高良さん、宮城さんは「見た目の美しさなどで加点を逃

してしまい、金賞は難しいと

思っていたのうれしい。技能五輪では一般の人たちに負けないよう、しっかり練習したい」と話していた。

県代表のうち、受賞者は次の各氏。

メカトロニクス 敢闘賞・

謝花規気、前泊智也（沖縄工業高校）▽旋盤 銀賞・比嘉

憲志（沖縄職業能力開発大学

校）▽フライス盤 銅賞・宮城魁（沖縄職業能力開発大学校）